

整理番号	24004
評価対象年度	令和3年度
編成区分	当初

事務事業評価(事前)シート

提出日	令和2年11月12日
事業担当課	文化振興課
担当者・内線	千葉・842-3782

《基本情報》

事務事業名	芸術文化大会等出場奨励事業費		<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡大
基本施策	G4 芸術文化あふれる暮らしを創出します		
基本施策の目的 (対象と意図)	対 象	意 図	
	市民が	芸術文化に親しみ、心豊かに生活している。	
個別施策	G4-2 市民の自主的な芸術文化活動の活性化を図ります		
個別施策の目的 (対象と意図)	対 象	意 図	
	市民が	自主的な芸術文化活動を活発に行っている。	

《事業の目的及び現在の取組み概要等》

現状・問題点	スポーツ分野においては、小・中・高校生の大会への出場等に対する助成制度があるが、芸術文化分野においては、芸術文化活動を行う団体に対する助成制度や出場大会を音楽コンクールに限定した助成制度はあるものの、芸術文化分野全体を対象とした大会やコンクール出場に対する助成制度がない。
目標(誰(何)をどのような状態にしたいのか)	芸術文化分野全体において、大会に出場する小・中・高校生やその引率者を対象に、奨励金を支給することにより、保護者の経済的負担の軽減を図るとともに、青少年の芸術文化の振興と活動の活性化につなげる。
課題(どういことをする必要のあるのか)	芸術文化分野における青少年の大会出場に対する奨励金を支給することにより、青少年の芸術文化活動を支援し、芸術文化の振興を図る必要がある。

上記の問題点に対して現在行っている事業の有無	有・ 無 ※有の場合は事業概要を添付(委員会資料等)
当該新規・拡大事業を行うにあたり、縮小・統合・廃止する事業	有・ 無 ※有の場合は事業概要を添付(委員会資料等) 新規・拡大事業を行うためには、今までやってきた取組みを検証し、成果や効果が低い事務事業の終了も含めた「選択と集中」に努めることが不可欠です。

《事業の概要》

事業の具体的内容 (対象、事業主体、事業期間、総事業費、事業費内訳等記載)	<p>芸術文化の振興を図ることを目的として、青少年の国際大会、全国大会、九州大会、又は県大会へ出場する個人又は団体に対し、奨励金を交付する。</p> <p>【事業開始】令和3年度～</p> <p>【対象】</p> <p>(1)市内在住の小学生、中学生、または高校生 (2)市内在住の小学生、中学生、または高校生が所属する団体における市内在住の指導者または引率者</p> <p>【交付金額(一人あたり)】</p> <p>(1)国際大会(国内は全国大会に準じる):30,000円 (2)全国大会(東海地区以東)20,000円 (3)全国大会(近畿地区以西、沖縄地区):15,000円 (4)全国大会(九州大会。県内は除く。):5,000円 (5)九州大会(沖縄地区):15,000円 (6)九州大会(県内は除く):5,000円 (7)県大会(市内は除く):1,000円</p> <p>【総事業費】4,032千円 役務費(郵送料) 32千円 負担金、補助金及び交付金 4,000千円 (内訳) (1)国際大会:300千円 (2)全国大会:1,500千円 (3)九州大会:1,500千円 (4)県大会(市内は除く):700千円</p>
--	--

業務量の増減	49時間の増					
市民等の参画と協働のまちづくり (取組みに☑をし、その内容を記載)	<input type="checkbox"/> 情報共有 <input type="checkbox"/> 参画 <input checked="" type="checkbox"/> 協働					
	青少年の国際大会、全国大会、九州大会、又は県大会へ出場する個人又は団体に対し、大会出場にかかる費用の一部助成を行う。					
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰り返し <input type="checkbox"/> 期間限定 (年度～ 年度)					
予算額	金額(千円)	国	県	地方債	その他	一般財源
	当年度	4,032			4,032	
	総額					
	財源名称	文化国際交流基金繰入金(文振分)				
成果(活動)指標	指標(単位)	奨励金の交付件数				
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	目標値	14	14	14	14	14
	成果指標及び目標値の説明	交付件数が多いほど、青少年の芸術文化活動の支援につながるため、奨励金の交付件数を成果指標とした。 目標値は、過去3年間の音楽コンクール補助金の交付実績件数の平均値とした。				

評価結果

(1)今後の事業の方向性と理由	
<input checked="" type="checkbox"/> 採択	<input checked="" type="checkbox"/> 所管案のとおり <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 事業規模拡大 <input type="checkbox"/> 事業規模縮小 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> その他
<input type="checkbox"/> 不採択	<input type="checkbox"/> 企画不十分
<input type="checkbox"/> 一部不採択	<input type="checkbox"/> 企画不十分
(2) 評価会議における指摘事項	
<p>現在、スポーツ分野における大会出場に関する助成制度はあるものの、芸術文化分野においては、音楽コンクールに限定されていたことから、芸術文化分野全体を対象とした奨励金を交付するものである。</p> <p>芸術文化分野全体への活動を支援することで、青少年の芸術文化の振興と活動の活性化に寄与することから、事業の実施は適当である。</p>	